

第6期 田村市観光キャンペーンクルー



第6期キャンペーンクルーと第5期キャンペーンクルー、審査委員の皆さん

6月12日、市役所多目的ホールで第6期田村市観光キャンペーンクルーの選考会が行われました。

審査委員6人が面接などによって選考した結果、クルーとしての意気込みが感じられ、市の観光事業を推進するうえで大いに活躍が期待できる4人の方を、第6期田村市観光キャンペーンクルーに選びました。

クルーは、6月12日～平成30年6月末までの任期で、各種イベントなどに参加し、市の観光PRを行います。

わたしたちが“たむら”の魅力をPRします



熊田未月さん
(くまだ みづき・都路町)
Mizuki Kumada

県外はもちろん、県内や地元の方々にも田村市の良さを実感していただけるよう、全力でPRしたいと思います。



青木菜々さん
(あおき なな・都路町)
Nana Aoki

観光地だけでなく、特産品や田村市の皆さんの温かさなどを明るく、楽しく、笑顔でお伝えできるよう頑張ります。



渡辺美幸さん
(わたなべ みゆき・都路町)
Miyuki Watanabe

田村市の良さを知っていただき、田村市に住んでいて良かったと思っていただけるように精一杯頑張りたいです。



渡邊希美さん
(わたなべ のぞみ・常葉町)
Nozomi Watanabe

たくさんの方が田村市へ観光に訪れ、田村市を知っていただけるように頑張りたいと思います。



田村市ご当地グルメプロジェクト

田村市ご当地グルメプロジェクト(箱崎哲司代表)は、田村市で生産された農作物を最大限に盛り込んだメニューを市内の生産者や直売所、飲食店などが共同で開発、広報することで、農産物の消費拡大や飲食店の売上増加、食文化の発展・継承、観光、交流人口の増加、ひいては地域経済の活性化を目的として活動しています。

プロジェクトは、平成27年3月に「たむら八彩カレー」を、平成28年3月にたむらご当地スイーツ「北醇」を完成、発表しました。

プロジェクトのその後の主な活動をお伝えします。

◆マッチング交流会

5月10日、市役所で市内の農業生産者とプロジェクト参加店舗(飲食店と菓子店)とのマッチング交流会を開催し、農産物の消費拡大などに向けての意見を交わしました。

約25人が参加し、それぞれ提供している商品、農産物のこだわりや現在の課題などを説明し、お互いの要望などを出しながら情報交換しました。

今後も、地元野菜を使ったご当地グルメの開発によって地域を活性化するため、マッチング交流会などを通して参加者の拡大を図ることとしています。



◆新たな6次産業化商品を開発



鏡石町の岩瀬農業高校では、田村市特産のヤマブドウやパッションフルーツ、エゴマを活用した6次産業化商品の開発を進めることになりました。総合コンサルティング企業が実施している農業高校経営マーケティングプログラムを活用し、生産情報科の3年生が製品化を目指します。完成した商品は、11月に宮城県仙台市で、来年2月に東京都で開催される販売会に出品する予定です。

5月13日、滝根町と大越町で初めてフィールドワークを実施しました。田村市ご当地グルメプロジェクト会員の山ぶどうやパッションフルーツの農場を視察。農産物の特徴やこれまで開発した6次産業化商品の説明を受けていました。

◆たむら八彩カレー普及イベント

6月2日、船引町の福島さくら農業協同組合農産物直売所「ふあせるたむら」で、「たむら八彩カレー」の普及イベントを開催しました。八彩カレーは田村市産の食材を8種類(うち野菜5種類)以上使用し、彩りよく美しい盛り付けにこだわったカレーです。

箱崎代表(船引町)とメンバーの三浦真由美さん(常葉町)が講話と調理実演をして、炊き込みご飯に田村市産のアスパラガスやニンジン、スナップエンドウなどが入ったカレーを振る舞いました。

